

2012年8月17日

プレス各位

「温泉」と「健康」つなぐ伝道師の活躍に期待
～「温泉入浴指導員」10年で4,600名に～

一般財団法人 日本健康開発財団

一般財団法人日本健康開発財団（東京都中央区、理事長：栗原茂夫）は、2003年より厚生労働省の実施要領に準拠した「温泉入浴指導員」の養成講習会を行っています。

「温泉入浴指導員」は、「温泉利用プログラムを安全かつ適切に指導する能力を有し、身体測定・生活指導及び応急手当を行う者」と規定され、厚生労働大臣の認定する「温泉利用プログラム型健康増進施設」（注1）に配置が義務付けられています。

講習会が10年目を迎える本年、修了者数が全国で合計4,600名を超える見込みとなりました。受講者は当初、温泉旅館やホテル、日帰り温泉施設に従事する方が大半でしたが、近年は「趣味で温泉に関する知識を深めたい方」の比率がほぼ半数を占めるようになり、入浴・健康関連企業、旅行会社等に勤務する修了者も増えてきました。

世界最大の温泉資源を有する日本ですが、「温泉の健康・医療利用」では、ヨーロッパの後塵を拝しています。「温泉入浴指導員」の幅広い活躍が、「温泉」と「健康」をつなぐ役割を果たしてくれるものと期待しています。

直近の講習会は、9月6日（木）～7日（金）ソリッドスクエア西館（神奈川県川崎市）にて開催予定。詳細はこちら。<http://www.jph-ri.or.jp/guide/individual.html>。

注1： 「温泉利用プログラム型健康増進施設」

温泉利用プログラム（温泉の利用を中心とした健康増進のための計画で、医師が作成・監修）を有し、かつ、温泉利用プログラムの提供を安全かつ適切に実施できる施設。現在全国37か所。